

尾はヒメタイ5.6cm大きくもいしちびき5.65cmとなつている。

魚 種	体 長	体 高	魚 種	体 長	体 高	体 重 kg
ヒメタイ	4.3 cm	1.3 cm	大きくもいしちびき	5.5 cm	1.2 cm	5.25
〃	4.1	1.3	〃	5.5	1.3	5.12
〃	4.2	1.4	〃	4.9	1.0	2.18
〃	4.4	1.4	〃	5.3	1.0	2.85
〃	4.6	1.3	〃	6.3	1.5	4.06
〃	4.7	1.4	〃	5.6	1.4	3.04
〃	4.6	1.4	〃	6.0	1.5	5.47
〃	5.2	1.6	〃	5.4	1.3	2.47
〃	5.8	1.7	〃	5.6	1.5	2.59
〃	5.6	1.7	〃	6.3	1.4	3.53
〃	5.3	1.7	〃	4.7	1.4	4.09
〃	5.6	1.7	〃	5.7	1.4	3.06
〃	6.0	1.8	〃	6.1	1.5	3.06
〃	6.1	1.7	〃	4.4	1.1	1.95
〃	5.4	1.5	〃	5.0	1.1	2.01

調査試験についての考察

当マツクスフィールドバンクは南支那海の略々中央部に位置する沖礁（岩礁）から凡そ9.50哩の地点で200m等深線に用された同様に約1800平方哩もあり周囲は500m深を越えている。南緯70哩を定軸とし幅約32哩もある長楕円形の広大な礁で其の中に水深9~20mの浅瀬などが点在し密にすれば底質は岩礁と珊瑚礁が多く又その位置、形状、深、海流の影響から見る魚類多量からして産魚量も豊富であるものと推はれ魚獲が相当期待している。

本調査の結果について考察するに一個の調査結果を以つて直ちに産魚量を決定することは最早であり今後更に第二第三回の調査を重ねることに依つて真面目が判明するものと思ふ。即ち今回の調査日数は当初15日間を予定していたが予想しなかつた悪天候に突いて僅かに7日しか調査できなかつたことは誠に遺憾である。7日に亘る調査期間中も天候悪く前半の三日間の調査が極々尙尾に実施されたのみで後半の四日は殆んど制止し得なかつた状態である。然し乍ら悪天候の調査ではあつたが漁場としては良好であつたと思料される。即ち

- 甲 本漁場の主要魚種が相續く漁獲記録で映像が認められる。
- 乙 水深の割合減少傾向回数が多い。
- 丙 潮流が急激でないため漁船上支障を來たすようなことは少ないと思はれる。其の他魚獲が良く肥潤していることである。

漁獲物売上げ明細

年月日	魚 名	数 量	単 價	金 額	備 考
	大タチマテ	900kg	30	270000	販売は函館魚産セリ市場
		60	31	1860	
		60	18	1080	
		60	18	1080	
		60	30	1800	
		60	18	1080	
		60	18	1080	
		60	18	1080	
		60	18	1080	
		60	18	1080	

